

韓国「世宗－ソウル」間の映像会議システム

①職員個人用PCで映像会議が可能

機能：職員が各座席で即座に映像会議に接続可能
 全ての政府省庁職員と全ての地方自治体職員が利用可能
 一度に50人以上との映像会議が可能
 組織間データ共有のための掲示板機能やチャット機能もある

用途：業務全般

使用実績：1日平均500回程度（全組織間の実績）、PCでの映像会議を実施（行政自治部発表）

※この機能は、行政自治部が運営している全省庁、全地方自治体の共有システム（나라 e 음（ナラ e ウム））の1つの機能として存在。組織間データ共有の掲示板やチャットの機能は、この共有システムの他の機能として存在する。

②会議室でのテレビ会議システム

機能：複数人が集まった会議室同士をつなぐ映像会議が可能
 全ての政府省庁と全ての地方自治体で、映像会議が可能（システムを統一）
 全部で292機関が結ばれ、自由に映像会議が可能

用途：業務全般

使用実績：全組織間（中央同士・地方同士も含む）での使用実績は2015年1月から4月で約1万件の使用実績

※国会での実績

2015年8月24日開催の教育文化体育観光委員会の午前常任委員会全体会議にて初めて映像会議システムを利用。ソウルの国会常任委員会議室と世宗政府庁舎の映像会議場が結ばれ、ファン・ウヨ副総理兼教育相（教育部は世宗市へ移転済）が世宗政府庁舎から出席。今後、常任委員会での恒常的な利用を促進すべきとの声も国会議員の中に多い。



↑職員個人PCでの映像会議の様子（左）とパソコン画面（右）



↑世宗庁舎の副総理（上）と国会（ソウル）の常任委員会（下）